

本時のねらい

「農業」や「水産業」について生産物の種類や生産量の変化、販売方法など、食糧生産について理解する。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

カメラ機能を使って、教科書の資料をデジタル化したもの、インターネットで見つけた記事や資料を使って、出典元を示したスライドを作成し、日本の食糧生産について、より具体的にわかりやすく相手に伝えることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ Chromebook
- ・ 電子黒板
- ・ カメラ機能
- ・ グーグルスライド

本時の展開

| 学習の流れ | 主な学習活動と内容 | ICT活用のポイント・工夫 |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 導入 (5分) | ○インターネット等の情報を記載する場合は、出典元を明記することを確認する。 | ○URLを貼り付ける場合は気をつけることについて確認する。 【参考文献を記載できているか】 |
| 展開 (30分) | ○ペアでお互いに作成したスライドについて、工夫した点を述べ合う。 ・どの点を工夫すればより相手に伝わりやすくなるか、どんな資料を貼り付けるとわかりやすいかなどに着目しながら聞く。 ○友だちの意見を聞いて、自分のスライドを修正する。 | ○わかりやすく相手に伝えるためにより適した資料を選びなおす。 ○スライドを修正することで相手にわかりやすいレイアウトや色遣い等を考える。 |
| まとめ (10分) | ○クラスの代表者の発表を聞き、伝わりやすかった場面の意見を述べあう。 ・どういった工夫が伝わりやすかったか、感想を述べあうことで分かりやすく伝える方法を考える。 ○他者の工夫を聞き、自分のスライドと照らし合わせ、再度スライドを修正し、次時の発表に備える。 | ○ICTを使うことで、何度も修正しながら、より伝わりやすい資料を作成する。 |

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：スライドを修正している場面



写真2：スライドを使って代表者が発表している場面



写真3：代表者の発表について、意見を聞いている場面

児童の反応や姿容

・自分が作成したスライドについて、工夫している点や修正すべき点を聞くことにより、「農業」や「水産業」の食糧生産について、理解が深まり、相手に自分の意見を伝える工夫が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・スライド作成の前に、「インターネット上の情報の活用の仕方」について、事前に学ぶ機会を持った。情報の発信元や更新日の確認・著作権や肖像権について学習し、スライド作りに臨んだ。写真や資料を使って、情報の正しい活用の仕方、人にわかりやすく伝えるにはどうすべきかをじっくりと考えながら、スライドを作成することができた。友だちの発表を聞く際も、わかりやすさや、資料の効果について着目しながら聞くことができ、日本の食糧生産にクローズアップして自分のスライドを修正できた。